

## 「神の賜物は金で手に入れられない」

2016年04月13日

使徒言行録8章14節～25節。エルサレムにいた使徒たちは、サマリアの人々が神の言葉を受け入れたと聞き、ペトロとヨハネをそこへ行かせた。二人はサマリアに下って行き、聖霊を受けるようにとその人々のために祈った。人々は主イエスの名によって洗礼を受けていただけで、聖霊はまだだれの上にも降っていなかったからである。ペトロとヨハネが人々の上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。シモンは、使徒たちが手を置くことで、“霊”が与えられるのを見、金を持って来て、言った。「わたしが手を置けば、だれでも聖霊が受けられるように、わたしにもその力を授けてください。」すると、ペトロは言った。「この金は、お前と一緒に滅びてしまうがよい。神の賜物を金で手に入れられると思っているからだ。お前はこのことに何のかかわりもなければ、権利もない。お前の心が神の前に正しくないからだ。この悪事を悔い改め、主に祈れ。そのような心の思いでも、赦していただけるかもしれないからだ。お前は腹黒い者であり、悪の縄目に縛られていることが、わたしには分かっている。」シモンは答えた。「おっしゃったことが何一つわたしの身に起こらないように、主に祈ってください。」

このように、ペトロとヨハネは、主の言葉を力強く証しして語った後、サマリアの多くの村で福音を告げ知らせ、エルサレムに帰って行った。

エルサレム教会は迫害を受けるようになったが、教会に残っていた使徒たちはサマリア人が主イエスの福音を受け入れたと伝え聞いた。そこで、ペトロとヨハネはサマリアに下って行き、聖霊を受けるようにと、福音を信じた人々のために祈った。フィリポなどの宣教によって洗礼を受けたが、まだ聖霊は降っていなかった。ペトロとヨハネが手を置くと聖霊が降ったという。聖霊はどのような形で降ったのであろうか。これは、使徒言行録の著者の、エルサレム教会が中心であり、また、ペトロ、ヨハネなどの使徒職の権威を表すための記述であると思われる。

使徒たちの按手によって聖霊が降るのを見た魔術師シモンは驚愕した。そこで、お金を持って来て「わたしが手を置けば、だれでも聖霊が受けられるように、わたしにもその力を授けてください」と頼んだ。すると、ペトロは激怒した。「この金は、お前と一緒に滅びてしまうがよい。神の賜物を金で手に入れられると思っているからだ。お前はこのことに何のかかわりもなければ、権利もない。お前の心が神の前に正しくないからだ。この悪事を悔い改め、主に祈れ。そのような心の思いでも、赦していただけるかもしれないからだ。お前は腹黒い者であり、悪の縄目に縛られていることが、わたしには分かっている。」シモンは畏れて「おっしゃったことが何一つわたしの身に起こらないように、主に祈ってください」と平身低頭に謝った。神の賜物はお金では買えない。主イエスの福音を信じ、従う者の間で、信仰によって分かち合うものである。また、キリスト教信仰は天地を創造された全能の神が全てを支配しておられることを信じる信仰であるから、魔術や占いを厳しく否定する。ペトロの怒りは福音信仰を明確に言い表している。

ペトロとヨハネは、サマリアの多くの村々で主イエスの言葉を力強く証しし、福音を告げ知らせた。そして、エルサレムに帰って行った。

ステファノの殉教以来、教会は迫害を受けるようになり、逃避したサマリアで福音は受け入れられ、新しい展開を見せた。これは、使徒言行録でしばしば見られる様子である。